

福祉のひろば

2 今の特集
届けます ふれあいと安心と
～青森県社協の取り組み～

- 2 県社協は、県民の生活を支えます
- 3 福祉安心電話サービス事業
24時間安心のネットワーク
- 4 青森県ボランティア・市民活動センター事業
みんなでつくる福祉のまち
- 5 地域福祉権利擁護事業／苦情解決事業
暮らしに安心を
- 5 福祉人材センター事業
福祉のハローワーク

6 県社協に事務局のある8団体のご紹介

7 賛助会員・ご寄付を募集しています

7 善意の預託をお待ちしています

7 身体拘束ゼロ介護相談室
車いすで転落や転倒を防ぐには？

- 8 県社協から
- 「第53回青森県社会福祉大会」
 - 「青森県里親連合会創設40周年記念大会」
 - 「福祉の仕事相談フェア」
 - 「ねむのき会館ホームページ開設」
 - 「ご協力ありがとうございました。」



福祉安心電話サービス事業は、在宅で生活する高齢者世帯などを対象に、安心と安全を24時間提供します。



県社協と市町村社協、安心電話協力員などが連携して、病気・ケガ・火災などの緊急事態に対応します。

届けます ふれあいと安心と

～青森県社協の取り組み～

県社協は、県民と一緒に、誰もが住みなれたまちで、安心して毎日を送れるよう関係する機関・団体と協力し、県民の生活を支援しています。今回は、地域福祉推進のために、県社協が行っている事業を紹介します。

社会福祉法人青森県社会福祉協議会（略称・県社協）は、地域福祉の推進を図ることを目的とし、昭和二十六年に設立された、社会福祉法に規定されている民間の団体です。

社会福祉法人である県社協は、福祉関係の各分野から参加した評議員が、事業計画や運営について協議・決定し、理事会が執行しています。

会員は、市町村社会福祉協議会、社会福祉施設、福祉関係団体や福祉事業に賛同する企業などです。

総資産は、約四十五億三千二百百万円で、会員からの会費、国と県からの補助金・委託金、寄付金や事業収入を財源としています。

県民の皆さんが、地域で安心して生活するためには、地域の問題を住民自らが協力しながら解決していくことや、地域住民が年齢・性別・障害・職業などで差別されず、認めあい、支えあうことが大切です。

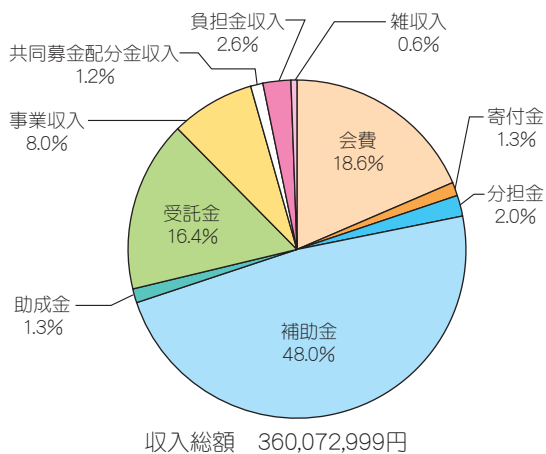
そのためには、住民だけではなく、住民を支える力が必要となります。

県社協は、地域福祉を推進する市町村社会福祉協議会、福祉サービスを提供する社会福祉施設、住民をサポートするボランティア・NPO団体を県域で支援しているほか、県民の皆さんを直接支援

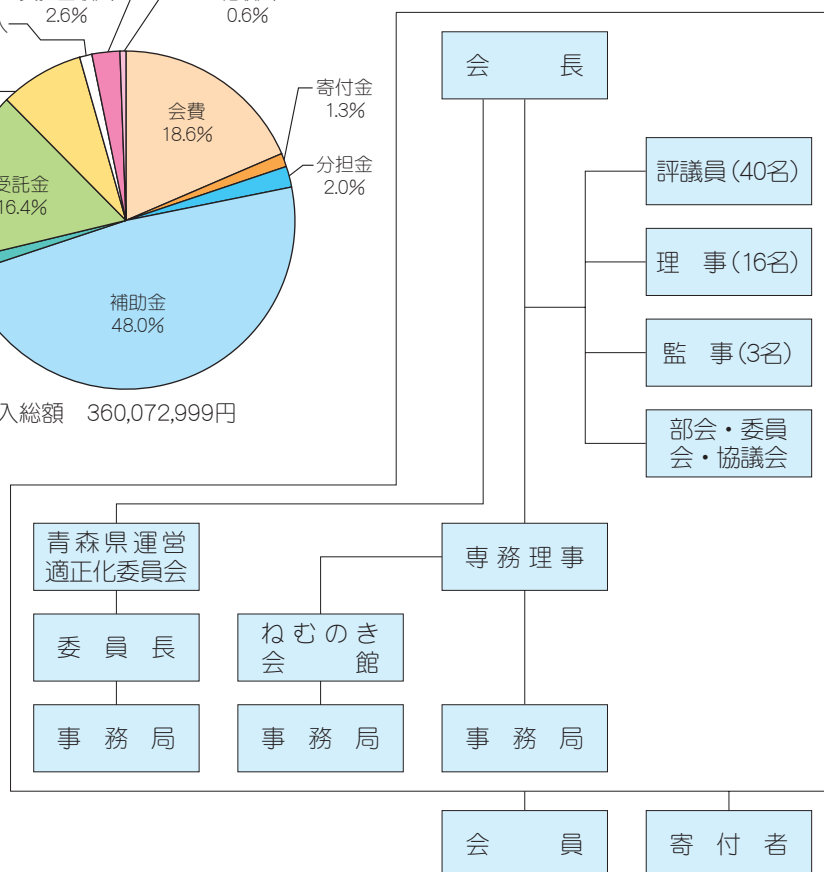
県社協は、県民の生活を支えます

するサービスを提供し、よりよい地域社会をつくるために努めています。

県社協収入源（平成15年度決算）



県社協の組織



24時間安心のネットワーク

福祉安心電話サービス事業

福祉安心電話サービス事業は、緊急通報システムを利用して、在宅のひとり暮らし高齢者や障害者などを市町村社協と地域の方々が見守っています。県社協では、緊急通報に24時間体制で対応しています。

生涯安心のネットワーク

在宅のひとり暮らし高齢者や障害者などの身体の不調や無理な訪問販売、火災などの不安に対し、二十四時間体制で対応しています。

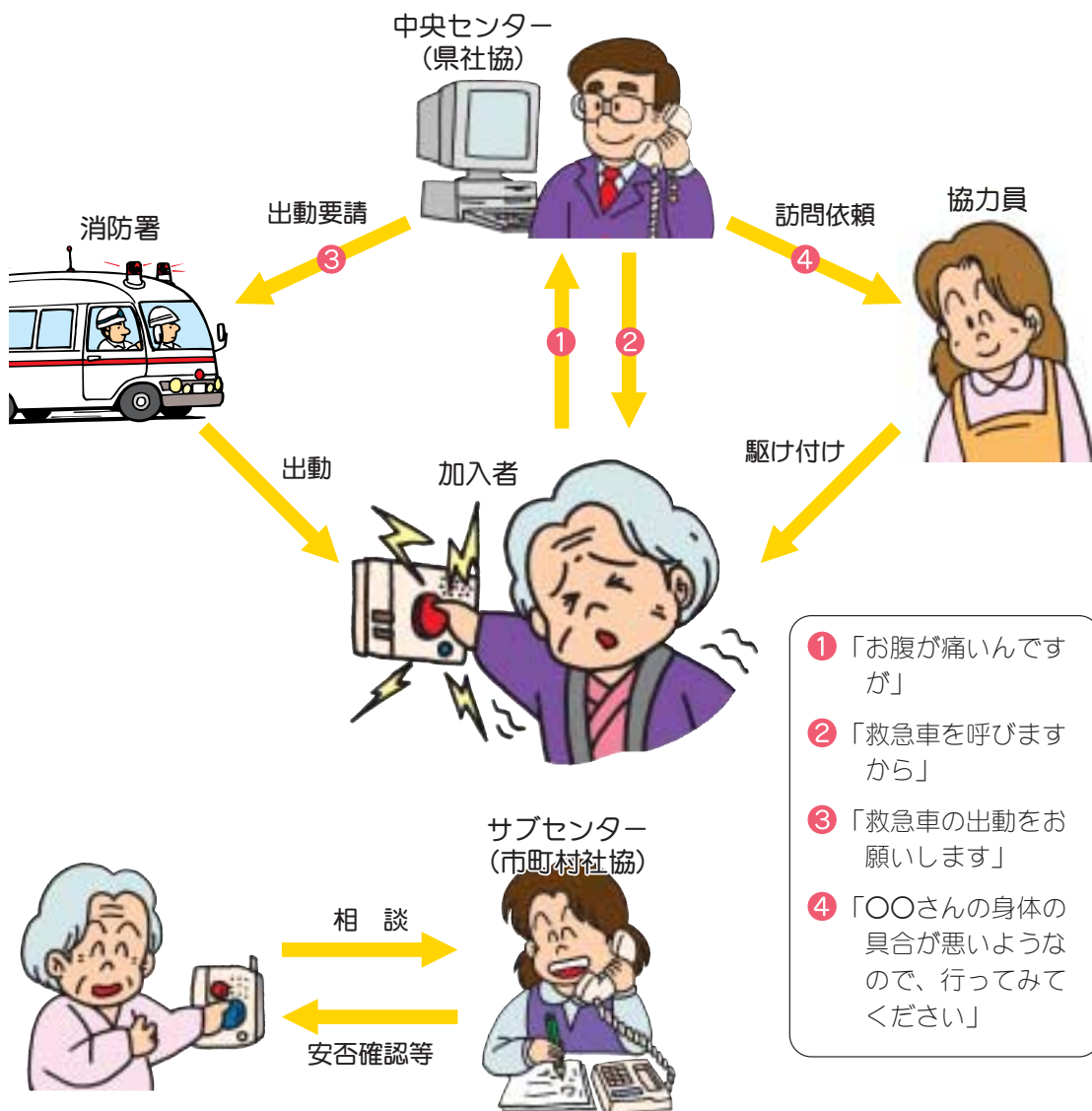
加入者を中心とした生涯安心して暮らせる地域社会づくりを、県市町村社協、安心電話協力員、民生委員、消防署、警察との連携・協働により進めています。

県域にわたる事業として、平成元年度に全国に先駆けて開始したこの事業は、平成十六年三月末現在で、四千を超える世帯が加入し、加入者の電話に緊急通報装置が設置されています。

特徴としては、加入者の身に何かが起こったときに、近所に住む安心電話協力員が加入者宅に駆けつける緊急通報、日頃からの見守り活動や生活上の困りごとの相談にも対応しています。

安心電話に加入するにはどうすればいいの??

加入についての相談や問い合わせは、地元の社協や県社協で受け付けています。必要な経費は、機械の設置に六万六千円、利用するための会費が毎月千円です。経費については、補助制度がありますので、お気軽にご相談ください。



- 1 「お腹が痛いんですが」
- 2 「救急車を呼びますから」
- 3 「救急車の出動をお願いします」
- 4 「〇〇さんの身体の具合が悪いようなので、行ってください」

みんなのでつくる福祉のまち

青森県ボランティア・市民活動センター事業

ボランティア活動の普及とボランティアグループ・NPOなどの市民活動を支援しています。

相談・情報提供などへの対応

ボランティア・市民活動に関する相談に応じたり、活動に必要な情報を提供しています。ボランティアや福祉に関係したビデオ四百三本、図書二百冊、活動に使用するボランティアルームやロッカーの貸出しを行っています。

ボランティアを始めてみたい、体験したい方には、収集した使用済み切手やプリペイドカードの整理を週一回行っていますので、ぜひ参加してみてください。

各種研修会の開催

ボランティアのほか、「ボランティアに興味がある」「ボランティア活動してみたい」といった学生や一般の方も参加できる「ボランティア講座」や「ボランティアのつどい」を開催し、活動について考える機会としています。

ボランティア活動の調整役を育成するために、「ボランティアコーディネーター研究集会」や「防災ボランティアコーディネーター養成研修会」を行い、活動が円滑に進むよう支援しています。

福祉教育の推進

学生や一般県民を対象にした、ボランティアや福祉活動の体験事業、教師・社協職員を対象にした福祉教育のあり方について考えるセミナーなど、県民の福祉についての理解と関心を高める事業を進めています。

毎年六十校前後の小・中・高等学校などを三年間ボランティア推進校に指定しています。指定を受けた学校では、高齢者・障害者との交流、環境美化などの体験活動や、福祉に関する学習とおして、福祉のこころを育んでいます。



小さな命 大切に

発行しています。この広報紙は、十一人のボランティアが、企画・取材・執筆・編集まで行っています。広報紙は、最寄りの社協、八市の図書館、県内の大学、短大で見ることができます。

広報紙「わ」の発行

ボランティア・市民活動に関する情報を掲載した広報紙を年四回

団体間のネットワークづくり

ボランティア・NPO団体が、協力しながら活動を円滑に進めることを目的に、情報交換や活動についての話し合いを行う交流会を開催し、団体間のネットワークづくりを推進しています。



ボランティア募集！週1回誰でも気軽に参加できます

青森県ボランティア・市民活動センター

【開設時間】月～土曜日／9時～17時

【お問い合わせ】TEL 017-777-9301 FAX 017-722-2739

暮らしに安心を

地域福祉権利擁護事業／苦情解決事業

福祉サービスを利用する方が、安心してサービスを利用できるように、支援しています。

サービス利用の援助

不安のある方を対象に、福祉サービスの利用援助や利用料・公共料金の支払い代行、契約書・登記書類の預かりサービスを行います。利用者へのサービスは、基幹的社協（県内六ヶ所）の専門員と生活支援員（全市町村）が行ないます。利用者が安心して生活できるように計画をつくり支援します。利用料は一ヶ月一回の利用の場合千円です。



専門員と生活支援員が援助します

苦情の解決

利用者が訴える苦情や要望は、施設・事業者に対する攻撃ではありません。運営適正化委員会のための必要な要素を気づかせてくれる「貴重な種」なのです。

福祉サービスの利用者やその家族、代理人からの苦情や要望の相談に応じます。運営適正化委員会の専門家たちが解決に向けた対策を考えます。

利用料は一切かかりませんし、知り得た秘密事項は守りますので、お気軽にご相談ください。

福祉人材センター・福祉人材バンクは、「福祉のハローワーク」として福祉施設などの求人・求職の斡旋や、福祉の仕事に関心のある方や福祉関係の職場に就職を希望する方を対象に研修や講座を開催し、支援しています。

福祉人材無料職業紹介事業

福祉人材センター・福祉人材バンクに登録いただいた方に、無料で求人情報を提供し、希望する事業所と面接などの調整をします。事業所からの求人もお待ちしております。

福祉の理解と関心を深める講座・研修の開催

就職ガイダンスとご相談フェア
福祉施設の就職担当者や就職希望者が一同に集い、就職希望者と面接して福祉施設の紹介や説明を行います。

福祉ナイトスクール
一般県民を対象に、午後五時以降の夜間に、福祉への理解を深めるための講座を開催しています。

福祉人材育成講習会
これから福祉の仕事をめざす高校生や離職者を

対象に、基礎知識の習得と施設での体験により、福祉の仕事を学ぶ講習会を開催しています。

対象に、基礎知識の習得と施設での体験により、福祉の仕事を学ぶ講習会を開催しています。

福祉のハローワーク

福祉人材センター事業

対象に、基礎知識の習得と施設での体験により、福祉の仕事を学ぶ講習会を開催しています。

・ホームヘルパー養成研修2級課程
現任のホームヘルパーを対象に、2級課程の知識・技能の修得を目的に、青森・弘前・八戸の三会場で研修会を開催しています。

無料職業紹介や研修についてのお問い合わせは、下記の人材センター・人材バンクへお問い合わせください。

福祉人材インターネット職業紹介システム（e-HOT）

自宅のパソコンのインターネットで、「福祉のお仕事ネット紹介システム」にアクセスしてください。ユーザIDを取得し、求職登録をすることで、全県の福祉人材センター、バンクに登録している公開求人情報を閲覧でき、「紹介状」をインターネットから手にすることができます。

<http://www.fukusi-work.jp>

■青森県福祉人材センター
TEL 017-777-0012 FAX 017-777-0015
ホームページアドレス <http://www.shakyo.or.jp/hot>
テレホンサービス 017-731-1111

■弘前福祉人材バンク（弘前市社会福祉協議会内）
TEL 0172-36-1830 FAX 0172-33-1163
■八戸福祉人材バンク（八戸市社会福祉協議会内）
TEL 0178-47-2940 FAX 0178-47-1881

県社協に事務局のある8団体のご紹介

県社協では、地域の福祉団体と連携しながら、県民の皆さんの生活をサポートしています。
ここでは、県社協が事務局を受託している団体の概要を紹介します。

①会員／②設置年／③会長コメント／④担当部

青森県社会福祉施設経営者協議会

- ①県内の社会福祉施設を経営する社会福祉法人191法人
- ②昭和57年設立
- ③「青森県は全国的に見ても福祉施設が多く、そのほとんどを社会福祉法人が運営しています。質の高い福祉サービスと利用者の権利擁護、適正な運営のための陳情活動などを通じて、社会福祉法人を支援しています。」
- ④福祉経営部



青森県民生委員児童委員協議会

- ①県内の民生委員・児童委員、主任児童委員 3,559人
- ②昭和38年設立
- ③虐待問題、引きこもり、高齢化率の上昇など地域社会の抱える問題は、多岐複雑化しています。地域住民の相談や援助活動に取り組むため研修や研究協議を行ない、会員の資質向上に努めています。
- ④地域福祉部



青森県地域活動連絡協議会

- ①県内の母親クラブなど164単位クラブ
- ②昭和50年設立
- ③「最近、子どもが事件や事故に巻き込まれたり、虐待が増えるなど、子ども達が育つ環境が悪化してきています。子育てをしているお母さんや、地域住民の方々と協力して子どもを健全に育てるための活動をしています。」
- ④福祉経営部



青森県ボランティア連絡協議会

- ①県内の市町村ボランティア連絡協議会、ボランティアグループ及び個人会員数28,198人
- ②昭和52年設立
- ③「ボランティア活動が活発に進められるよう、研修会や情報の提供、交流のために活動しています。新たな活動の展開を求めている団体・個人の皆さん。会員を募集していますので、参加して一緒にボランティア活動を進めてみませんか。」
- ④県ボランティア・市民活動センター



青森県児童館連絡協議会

- ①県内112館
- ②昭和43年設立
- ③「児童の親や地域の方々との協力して、地域で児童を育てる取り組みや、児童館同士の連携を図って、地域福祉の拠点のひとつとして活動を進めています。」
- ④福祉経営部



青森県里親連合会

- ①県内の里親 104世帯
- ②昭和34年設立
- ③「何らかの理由で親と一緒に暮らすことができない子どもたちに家庭という場で愛情を与えているのが里親です。里親ゆえの悩みや不安を解消するために、研修会やキャンプを通じて情報交換を行っています。」
- ④福祉経営部



青森県ホームヘルパー連絡協議会

- ①県内ホームヘルパー及び福祉業務に携わる方 226人
- ②平成5年設立
- ③「本会では、ホームヘルパーの資質向上や会員間の情報交換を行なうために、研修・講座などを開催しています。皆様のご入会を心からお待ちしています」
- ④福祉人材部



青森県在宅介護支援センター協議会

- ①県内の在宅介護支援センター147カ所
- ②平成14年設立
- ③「全ての市町村に1つ以上ある在宅介護支援センターは、直接あなたのお宅に訪問して困りごとを伺ったり、介護に関する相談に応じています。介護相談から日常生活の悩みまで多岐にわたる相談に対応するための研修会を実施しています。」
- ④福祉経営部



善意の預託をお待ちしています

青森県善意銀行は、みなさんから寄せられた善意（金銭、物品、技術など）をお預かりし、高齢者福祉・児童福祉・障害者福祉・地域福祉など必要としている人や団体に配分し、まごころを橋渡ししています。

※預託の種類

- 金 銭：バザーの収益金や会社での募金など
- 物 品：日用品、使用済み切手、テレホンカード、電気製品、図書、玩具など
- 招待預託：観劇・映画・コンサートなどへの招待（券）
- 技術預託：車輛運転、理髪、電化製品の修理、大工などの技術奉仕

預託の方法

預託の申込みを希望される方は、善意銀行までおいでいただくか、お電話ください。

払い出しの方法

預託者の指定に従って配分します。指定がない場合は、善意銀行において配分先を決めさせていただきます。

ご連絡・お問合せ先

青森県善意銀行（青森県社会福祉協議会内）

電話 017-723-1391 FAX 017-723-1394



演歌歌手 藤はじめさんからの車椅子贈呈式

賛助会員・ご寄付を募集しています

青森県社会福祉協議会を運営するうえでの財源は、国・県からの補助金、共同募金配分金を基本としながら、個人や企業及び社会福祉団体などからの会費や、一般からの寄付金です。事業に賛同し、ご協力いただける個人や団体、一般企業の皆様、賛助会員として、青森県社会福祉協議会を応援してください！ご協力お願いいたします。

賛助会員

年会費は一口1万円。何口でも結構です。

会員の皆様には、「福祉のひろば」「福祉のしおり」など本会が作成する社会福祉関係資料をお届けします。

寄付金の受付

- ・お祝いごとや、催し物の収入、香典返しの一部
- ・会社、商店、団体などの創立記念・開店記念などのご芳志
- ・各種パーティー、バザーなどの益金の一部

※県社協は社会福祉法人ですので、個人寄付は所得税法第78条により、寄付金が1万円を超えた場合、超えた額の寄付金控除が受けられます。また、法人は、条件により損益算入額と同額の損金算入をすることができます。

ご入会いただける方、お問い合わせは、

青森県社会福祉協議会総務部

（電話017-723-1391）

までご連絡ください。

身体拘束 ゼロ 介護相談室

Q

車いすで、転落や転倒を防ぐため、ベルトや紐で安定させるのは身体拘束になると聞きました。どうしたら良いのでしょうか？

車いすの座り方が良くないと、ずり落ちたり、立ち上がったときに転んだりします。

そのために、ベルトや紐で固定することがありますが、高齢者の身体の自由を損ねることは身体拘束として禁止されています。

そこで、バスタオルや座布団、枕など身近な物を座位安定の補助員として工夫します。

最近では、多様な機能を持つ座位

保持用の車いすも開発されて安全になりましたが、高価です。

多少の予算があればクッション材や安全用具も市販されていますが、まずは身近な物で工夫を重ねるのがなによりです。



車いす用クッション

介護の工夫に関する相談は

身体拘束ゼロ介護相談窓口（青森県社会福祉協議会内）

電話 017-731-3214 FAX 017-731-3215

毎週月曜日と木曜日午前10時から午後3時までは専任相談員が対応します

県社協から

● **ご協力ありがとうございました。(2～7月分)**

■ **青森県社会福祉協議会への寄付**

- ・協同組合日専連青森
- ・日野建ホーム株式会社ロマン会
- ・(株)浅虫観光ホテル
- ・アクサ生命保険(株)青森支社

■ **青森県善意銀行**

- ・東北電力(株)青森支店及び東北電力労働組合青森県本部様からお預かりした車イス1台を小泊村社会福祉協議会へ贈りました。
- ・青森県立浪岡養護学校様からお預かりした使用済み切手などを財団法人ジョイセフへ贈りました。
- ・青森県信用金庫協会様からお預かりした寄付金55万1,379円を財団法人ジョイセフへ贈りました。
- ・NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド様からお預かりした寄付金50万円を県内のボランティア振興のために役立たせていただくこととなりました。
- ・藤はじめ様からお預かりした車椅子5台を特別養護老人ホーム八甲荘、デイサービスセンターせんじゅ園、鶴田町社会福祉協議会、浪岡町社会福祉協議会、青森市社会福祉協議会へ各1台ずつ贈りました。
- ・菊池幸子様からお預かりした寄付金500万円を青森県視力障害者福祉連合会へ贈りました。
- ・七戸町立鷹山宇一記念美術館様からお預かりした「星野富弘 花の詩画展」の招待券400枚、優待券15,000枚を県内社会福祉施設へ贈りました。

● **第53回 青森県社会福祉大会**

社会福祉関係者・一般県民が集い、今日の福祉課題について考えます。

日時 11月10日(水) 12:30～15:30

場所 青森市文化会館

内容 式典

講演

「身近な生活笑百科

～みんなで担おう福祉のまち」

講師 弁護士

三瀬 顕 氏

申込み 各市町村社会福祉協議会

● **福祉の仕事相談フェア**

福祉の職場へ就職を希望する方に、仕事の内容や必要な資格、求人求職の動向などをわかりやすく説明いたします。福祉の仕事に関心のある方ならどなたでも参加できます。

〈青森〉 期 日 11月28日(日)

場 所 県民福祉プラザ

問合せ 県福祉人材センター4F

TEL 017(777)0012

〈弘前〉 期 日 10月30日(土)

場 所 弘前社会福祉センター2F

問合せ 弘前人材バンク

TEL 0172(36)1830

参加費 無 料

受付 12時30分から

福祉の仕事相談会

13:00～16:00

問合せ 県福祉人材センター

TEL 017(777)0012

● **青森県里親連合会 創設40周年記念大会**

～子どもからの声を受け止めていますか～

親と離れて暮らす子どもたちへ、家庭という環境を与えている里親で組織されている里親連合会が、創設から40周年を迎えることを記念して大会を開催します。

日時 平成16年10月17日(日)

13:30～15:15

場所 ウェディングプラザアラスカ(青森市)

内容 記念式典

記念講演

「子どもとの愛のキャッチボール」

講師 家庭教育カウンセラー

内田 玲子 氏

参加費 無 料 (参加申込が必要です)

問合せ 青森県里親連合会事務局

(県社協内) TEL 017(723)1391

● **ねむのき会館 ホームページ開設**

下記アドレスにアクセスして下さい。

URL <http://www16.ocn.ne.jp/~nemunoki/>

ホームページ用メールアドレス

nemunoki2@eos.ocn.ne.jp

ホームページでも「福祉のひろば」がご覧いただけます。

■ 発行所

〒030-0822 青森市中央三丁目20番30号
県民福祉プラザ2階

社会福祉法人 青森県社会福祉協議会

TEL 017(723)1391 FAX 017(723)1394

URL <http://www.aosyakyo.or.jp>

E-mail fureai-net@aosyakyo.or.jp

■ 印刷所

株式会社コーセイ印刷



■ 県民の皆さんがそれぞれの思いで生活している青森県です。そんな生活が安らぎのある毎日であるために県社協は、皆さんのためにできること、しなければならないことを考えながらふれあいと安心を届けています。今回は、県社協を知っていただきたくて特集を組みました。

■ 新年度になって、編集委員にも異動がありました。これからは、新しい顔ぶれで、これまで同様、皆さんの役に立てる紙面を作っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

(M. K)



新しい編集委員です、皆さんよろしく。

この広報紙の発行のため青森県共同募金会から配分金を受けております。